

NO.19 シリーズ講座～産業・組織心理臨床基礎研修（全 5 回）**第 3 回 厚生労働行政と産業・組織心理臨床との関わり****1. シリーズ講座の目的**

このシリーズ講座は、産業・組織心理臨床の初学者またはこれから産業・組織心理臨床へ参入を希望する方を対象とした基礎的な研修会です。

産業領域のフィールドは、企業組織だけではなく、地方自治体・警察・団体組織などをも対象とするようになりました。また臨床心理士が組織に関わる必要性はどの領域でもあるのですが、産業領域においては、特に強くそれが求められます。

この講座の主な目的は、以下のようになります。

- 1 産業・組織領域での臨床心理士が、閉鎖的な心理主義に陥らないように、様々な他領域の視点から幅広く学ぶ
- 2 他領域・他職種との連携で成り立ち、いきいきと活性化する産業・組織心理臨床を目指す
- 3 産業・組織心理臨床において、組織に関わるスタンスの重要性を実践的に理解する。

2. 今回の講座の内容等

心理職の国家資格が問われる中、行政（厚生労働省と文部科学省という領域）との関わりで、今までは心理職はどちらかと言えば文部科学省に、より軸をよせていたような感じでした。しかし、平成 24 年文科省から「学校における労働安全衛生管理体制の整備のために～教職員が安全に教育活動に専念できる適切な職場に向けて～」が出されて以来、学校現場で活躍されている心理士も、産業・組織領域で働く心理士同様に、産業医、保健師・看護師等、労務・人事スタッフといった他職種との連携をより円滑に、強めていくことが必要になってきました。また同時に、厚労省の行政ならびに関連法規を理解した上で、産業現場での実践を高めていくことが求められてきています。

産業・組織現場の今日的トピックスを説明しながら、現場で求められている心理職の役割を自覚していただき、実践活動にヒントとなるような事例をお話していきたいと考えています。特に、「今さら知らないと言にくいストレスチェック制度の基本事項」と題して、そのストレスチェック制度創設の過程、心理職ができることとできないことを説明します。レクチャーの他に実習として、事例検討、企業からの研修依頼への対応についても皆様と協議検討の時間をとりたいと考えています。

3. 講師 松井 知子 （杏林大学）

4. 日時 平成 28 年 9 月 11 日（日曜日）10:30～16:30（10:15 開場）

5. 会場 文京区本郷 2-27-8 太陽館ビル 202 号室（財）日本心理研修センター研修室

6. 参加費

社）日本臨床心理士会 会員	5,000 円
臨床心理士 非会員	8,000 円
大学院生（臨床心理士資格未取得に限る）	3,000 円

